

日程表

日	時間	内容
4月16日(木)	14:00	日本放射線技術学会 日本医学物理学会 日本画像医療システム工業会
4月17日(金)	9:00	合同開会式
	10:00	合同開会式
	18:15	合同会員懇親会
4月18日(土)	8:00	
	19:00	
4月19日(日)	8:00	
	16:00	表彰式・閉会式

学術発表

- 特別講演
- シンポジウム
- CyPos
- CyberRad
- 教育講演
- 口述発表
- イメージインタープリテーション

参加登録費

学会(当日)	会員	¥12,000(不課税)
	学生	¥1,000
	非会員	¥19,000(税込)
機器展示会		¥3,000(税込)
合同会員懇親会		無料

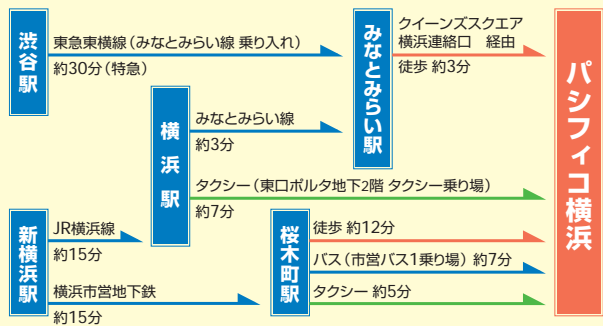
会場

日本医学放射線学会総会	会議センター
日本放射線技術学会総会学術大会	会議センター
日本医学物理学会学術大会	会議センター
国際医用画像総合展	展示ホール
CyberRad 2009	

会場のご案内

パシフィコ横浜

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1
TEL. 045-221-2155



JRC 日本ラジオロジー協会

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8 王子不動産神田ビル7階
TEL. 03-3518-6111 FAX. 03-3518-6139 URL: http://www.j-rc.org

輝く放射線医療 今そして未来

人と技術のハーモニー

第68回 日本医学放射線学会総会

会長: 山田章吾 [東北大学]

第65回 日本放射線技術学会総会学術大会

大会長: 小水 満 [大阪大学]

第97回 日本医学物理学会学術大会

大会長: 齋藤秀敏 [首都大学東京]

2009国際医用画像総合展 CyberRad 2009

JRC 2009

2009年4月16日(木)~19日(日)
パシフィコ横浜

now to the future

ごあいさつ

がん、脳、心臓の病気のみならず、ほとんど全ての病気の診断からがんの放射線治療まで、放射線は医学の分野で幅広く利用されています。

CT、MRI、PETなどの画像診断、がんの放射線治療、さらにコンピュータを利用した画像解析など放射線医療は目覚しく進歩し、「放射線なくしては最先端の医療ができない」ほど放射線医療は現在の医療に不可欠となっています。

放射線医療関連の学術集会、放射線医療機器展示を共同で行うべく発足したJRC(日本ラジオロジー協会)も21年目を迎えることができました。

日本医学放射線学会(JRS)、日本放射線技術学会(JSRT)、日本画像医療システム工業会(JIRA)に加えて新しく日本医学物理学会(JSMP)が加入し、JRCはこの4団体から構成されています。

JRCによる春の学術集会、医療機器展示(国際医用画像総合展)も放射線医療の進歩にともなって発展し、わが国で最大規模の学術集会のひとつになることができました。

JRC2009では放射線医療に関する最新の研究成果が発表され、会員の日常診療に役立つ教育講演など充実したプログラムを準備しています。また最先端の放射線医療機器が数多く展示されますので、多数の方々のご参加を期待しています。

パシフィコ横浜で開催されるJRC2009でお会いしましょう。



JRC
Japan Radiology Congress

JRC代表理事
遠藤 啓吾

遠藤 啓吾

近年、コンピュータの登場で弾みのついた放射線医療機器の進歩は目覚ましいものがあり、特にわが国では国民一人あたりのCT、MRI、PETあるいはリニアック保有台数は世界に群を抜いて多く、国民の受ける恩恵も多いと思われます。しかしそれらを専門に扱う放射線科医師数の増加はわずかで、激増する検査および治療件数に放射線科医は疲弊し、研究、学習の時間もとれないのが現実です。

今総会の主題は“輝く放射線医療（今そして未来）人と技術のハーモニー”です。進歩を続ける技術に人はどう調和し、輝く放射線医療の未来のために今何が必要なかを議論していただきます。また多忙な放射線科医のために教育講演を充実し、貴重な研究は全て講演発表をしていただく予定です。また、この総会には診断、治療、核医学の医師の他、診療放射線技師、医学物理士など多くのコメディカルの方々が参加されますのでCT、MRIなどのモダリティ別に全分野から、また臓器別に診断、治療、核医学あるいは他科医師の立場からの合同シンポジウムを企画し、問題点を掘り下げていただきます。

持ち帰るものの多い総会を目指します。多くの方々のご参加を心からお願い申し上げます。

第65回日本放射線技術学会総会学術大会は、2009年4月17日(金)～19日(日)にパシフィコ横浜において、統一テーマをJRC2009「輝く放射線医療 今そして未来 — 人と技術のハーモニー —」として開催します。メインテーマ「輝く放射線医療 今そして未来」は、昨今の厳しい医療情勢にあって、放射線医療を「明るく」・「笑う」をモットーとして物事を前向きに捉え、現在の放射線診療技術が、輝く未来を拓かれることを期待するものです。

昨今の技術革新の中で行われている放射線医療は、より高性能で高精度の機器を用いて、高度な医療を提供するシステムになっています。医療従事者は、機器に使われるのではなく、医療技術者として機器を使いこなすことで、臨床と技術の調和を保ち、安全で安心できる良質な医療を患者に提供しなければならないと考えています。

このような観点から、プログラムでは、「人と技術のハーモニー」とする教育セミナーを多く計画しています。是非多数の参加を期待します。

日本の医療は少子高齢化時代に入り、医療費の増加と負担の問題、診療報酬の見直し、医療スタッフの不足や負荷の増大など、医療の様々な課題が顕在化しつつあります。

先般、国は社会システムの改革と技術革新に取り組む長期戦略指針「イノベーション25」を決定し、この中で“生涯健康な社会形成”のためにQOL（Quality of Life）を高める診断・治療機器の研究開発を重点科学技術に指定しています。また「革新的医療機器創出のための5か年戦略」が内閣府、文科省、厚労省、経産省合同でスタートしています。

望まれる医療のイノベーション — 安全で安心な医療をすべての人に — に「放射線医学」の果たす役割は重要で、その実現は、放射線科医・放射線技師・画像医療システムの連携と理解、すなわち“人と技術のハーモニー”の上に成り立つものと考えます。

JIRAは最新技術を駆使した高品質で安全な画像医療システムを広く提供し続けるべく、予防・診断・治療・予後への画像活用、そして診断・治療情報の統合などによる低侵襲かつ安全で早期に患者が社会復帰できる医療を目指し、「産・官・学」連携、「医・工」連携により、積極的に取り組んでいます。

ITEM2009では、「人と人」「人と技術」「技術と技術」の、より充実した出会いの場となることを期待しています。医療に従事される多くの皆様の御来場をお待ちしています。

第97回日本医学物理学会学術大会（JSMP2009）が2009年4月17日から19日までの3日間、パシフィコ横浜会議センターにおいてJRC2009の一環として開催されます。

JSMP2009では、会員皆様の研究成果の発表とともに国内外から招聘する研究者による教育講演、日本医学放射線学会（JRS）ならびに日本放射線技術学会（JSRT）との共同によるフォーラム、シンポジウムなど魅力あるプログラムが企画されています。さらに、国際医用画像総合展（ITEM2009）では最新機器の動向を探ることができます。

文部科学省による「がんプロフェッショナル養成プラン」も3年目を迎え、多くの大学で質の高い教育が実施され、医学物理領域を専門とする人材が育っています。放射線医療を中心としながら異なった専門性をもつ学術団体、組織が一堂に会するJRC2009は、広い視野で智の蓄積を学び、新たな創造へとつなげることができる絶好の学習の場となります。ぜひ数多くの若い世代が参加され、積極的な研究発表と討論を展開されることを期待いたします。

開港150周年を迎える横浜で皆様とお会いできることを楽しみにしております。



第68回日本医学放射線学会総会
会長 山田 章吾

山田 章吾



第65回日本放射線技術学会総会学術大会
大会長 小水 満

小水 満



(社) 日本画像医療システム工業会
会長 猪俣 博

猪俣 博



第97回日本医学物理学会学術大会
大会長 齋藤 秀敏

齋藤 秀敏